

平成25年第3回西之表市議会定例会

【所信表明並びに提案理由説明】

[平成25年9月6日午前10時]

西 之 表 市



おはようございます。

本日、ここに平成25年第3回西之表市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位にはご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

さて、皆様ご承知のように、種子島中学校野球部が全国中学校体育大会において全国制覇をいたしました。昨年来、県大会・全国大会へ出場し、その実力の片鱗<sup>へんりん</sup>を見せていましたが、国内最高峰の大会で見事、優勝という快挙を達成してくれました。県予選を含め13戦無敗でその頂点を極めております。種子島中学校野球部の皆さんに改めて『おめでとう』の言葉を贈ります。また、これを支えていただきました種子島中学校関係者の皆様、応援に駆け付けていただきました出郷者の皆様、そして、種子島中学校に敗戦した、熊本合志中学校の友情応援にも深く感謝申し上げたいと思います。大会での応援参加は<sup>かな</sup>叶いませんでしたが、<sup>ときおな</sup>時同じく開催されていた県下19市市長会でこの快挙を披露することができ、この上ない喜びを感じたところです。また、帰路の途中、県知事、県教育長及び教育委員会事務局の方々への優勝報告もさせていただき、大変な歓迎と労いの言葉をいただきました。さらに、市民の皆様にも多大

な資金援助をいただいたとお伺いしております。お礼を申し上げますとともに、全市民で喜びたいと思います。

色々のご意見はございましたが、中学校統合の一つの成果ではないかと思えます。恵まれない環境は様々にあると思えますが、努力すれば達成できるということを証明してくれたと思えます。先の種子島高校の放送部を始め、全国で活躍する若人<sup>わこうど こうじん</sup>の後塵を配さない様、我々大人もしっかりとそれぞれ役割を果たしたいものだと思います。

暑い夏を吹き飛ばす一陣の風を巻き起こしていただきました種子島中学校野球部並びに関係者の皆様にエールを送り、今後ますますの活躍を期待するものです。

もう一つ嬉しい報告がございます。中割校区が地域ぐるみで取り組んでいる生姜づくりが、平成25年度過疎地域自立活性化優良事例として全国過疎地域自立促進連盟会長賞を受賞することになりました。中割校区では、10年前から市街地の住民との交流会、「鴻峰ふるさと交流大会」を開催しておりますが、地域おこし協力隊の協力を得て、「なかわり生姜山農園」を設立、平成23年度から集落名に由来する生姜栽培を復活し、生姜づくりで地域の活性化及び他地域との交流人口の増加を図ることを目指し、地区の住民が中心とな

って活動を始めておりました。

農園では、地域内の休耕地を活用した交流農園を整備、主に市街地住民である農園サポーターと地域住民による生姜の体験栽培を手始めに、休校となっていた鴻之峰小学校を活用し、収穫した生姜を加工する作業場や、従来の学校としての機能である学ぶ場を設置、生姜を使った季節のスイーツ作り教室や、生姜に関する健康講座「元気を養う学びの場」を開講するなど、地域に活気を生み出すとともに地域の活性化に繋げております。このような活動が、地域の自立に創意工夫して取り組んでいると認定され、過疎対策の先進的・モデル的事例にふさわしいとして表彰を受けるものです。これを機に更なる地域の活性化に取り組み、優れた成果を出していただくことを期待したいと思います。

昨年の現和校区の受賞に続くもので、地域の皆様が様々な障害を乗り越え、自ら地域の活性化に取り組んでいただいていることを大変うれしく思うとともに、これからも地域独自の視点から他校区のモデルとなり波及することを期待し、行政として支援していきたいと思っております。

次に、日本唯一の実用衛星の発射基地を持つ種子島からH II Bロ

ケット4号機が8月4日、早朝、種子島宇宙センターから打ち上げられ、成功いたしました。日本の打ち上げ技術の高さが益々高まっております、今後、商業ベースでの受注が軌道にのりますと、種子島の経済に与えるインパクトは多大な効果が見込まれるところであり、観光業関係者をはじめ関連団体においては、この機会をしっかりと捉え、地域活性化の知恵を絞っていただきたいと考えているところです。

次に、真夏の祭典、種子島鉄砲まつりが8月24・25の両日にわたり開催されました。鉄砲伝来470周年の記念の祭りとして準備を進め、太鼓山行列と南蛮パレードを午後からのスタートに集約、マンドリンオーケストラの野外演奏、種子島の入込客に効果を与えているロボティクスノーツの主題歌を歌うツヴァイのコンサートとコスプレ衣装での行列やコンサート参加等工夫を加えたところです。また、在日ポルトガル大使やマカオ観光局の来市、外国人による国際結婚スピーチコンテストを主催していただきました種子島国際友好協会にも祭りを盛り上げていただきました。

例年より多くの方々が祭りに足を運び楽しんでいただいたと感じており、見学者の皆様からも好評の言葉をいただきました。友好都市・姉妹都市をはじめご参加いただきました皆様にお礼を申し上げ

ますとともに、実行委員会はじめ祭りの準備に携わっていただきました関係者の皆様に深く感謝を申し上げます。

さて、今年は、例年になく猛暑や局地的豪雨が日本列島を襲っていますが、本市においては、一昨年・昨年と比較しますと、1月から8月まで及びここ3か月の降雨量がともに約半分程度となっており、7月の降雨量はわずか3ミリと極端に少ないものとなっております。台風17号による降雨を期待しておりましたが、<sup>にちうりょう</sup>日雨量25ミリと渇水を解消する雨量とはなっておりません。ほとんどの農作物で何らかの影響が出ており、特に影響が大きいと思われるサトウキビ、原料用及び青果用甘藷について被害調査を実施しましたところ、現状で、総額2億9千万円程度の被害額と予想しております。農業用水の確保が急がれるところですが、西京ダム取水がいきなり拡大しており、貯水率が72%まで減少しております。このまま推移しますと飲料水への影響も懸念される事態と判断し、庁内に渇水対策推進協議会を設置、2回の検討会を実施いたしました。畑かん施設やコイン給水施設のない地区への対策も検討されましたが、既に影響を受けている地区が広範囲に及んでおり、具体策が講じにくい事態となっております。水道用水については、有水収量対策や土嚢を

積み、堰の嵩上げ対策を行っているところです。また、農業用水についても、畑かん施設の適正使用の周知やコイン給水の活用等をお願いしているところです。一刻も早い降雨が待たれますが、最悪の事態を想定し、対策講じてまいります。

また、8月14日には、牧草やさとうきびの葉を食害する外来種のアフリカシロナヨトムシの大量発生が伊関地区で確認され、集団防除を行っております。その後、市内14箇所、56ヘクタールで発生が確認されたため、それぞれ防除を行っております。これ以上の拡大を阻止するため、関係機関と緊急会議を開催し、19日にアフリカシロナヨトムシ対策本部を設置、21日、実務者会議において防除方針を確認し、対策を講じているところです。しかし、作物により使用可能な農薬も限られており、また、卵や地中の<sup>さなぎ</sup>蛹には効果がないため、約35日周期での発生が予測されております。ただ、害虫の生育環境から越冬はできないため、11月までには終息するものと判断いたしておりますが、引き続き、監視体制を継続してまいります。これまでのところ、大陸又は南方から風により飛来したものと想定されておりますが、詳細は不明であります。今までにない害虫の発生は、水際での対策を強化する必要があると考えており、

県をはじめ関係機関との緊密な情報連絡体制を構築し、予防対策と侵入後の迅速な対応が講じられるよう努めてまいります。

次に、鹿児島県では、県民にアートに触れ親しむ機会を提供するため、著名なアーティストの作品展示やアートに関する多彩なイベントを「かごしまアートフェスタ2013」と題し、<sup>こんしゅうき</sup>今秋季に、鹿児島県民交流センターをメイン会場に、霧島アートの森、月窓亭の3会場で開催いたします。

アートフェスタの始まりとなる月窓亭では、9月7日から10日までの4日間、CGアーティスト河口洋一郎先生の作品が展示されます。また、オープニングイベントとして、月窓亭が池坊の大日本総会頭職を務めた<sup>はぶみちのり</sup>羽生道則（<sup>しんのう</sup>慎翁）を輩出した場所でもあることから、池坊家元の次女で華道家池坊美佳氏と河口先生のトークショーや、池坊氏による生花のデモンストレーションが予定されています。

なお、平成27年度に鹿児島県で開催される国民文化祭において、西之表市では「華道の祭典in種子島」と「黒潮文化交流の祭典」の2つの事業を実施することとしており、「華道の祭典in種子島」では全国規模の華道の祭典を計画し、今後、準備を進めることとしております。今回の「かごしまアートフェスタ2013」は、そのプ

イベントとして成果に期待しているところです。

次に、国の平成26年度当初予算の編成に絡み、馬毛島関連経費が仮置きで概算要求されていることが報道されております。これまで幾度も熊毛地域住民の意思を国に伝えてまいりましたが、移転計画反対の切実な声が届かないことに憤りを禁じ得ません。国は地方との関係において、対等との方針を明確にし、地域の事は地域に任せ、自助・共助・公助という考え方、立場を公言しております。その方針に照らして、どうして熊毛地域住民の意思が伝わらないのか理解に苦しむところであります。馬毛島での米軍機による夜間離発着訓練及びその基地建設については断固反対をしてまいりますし、引き続き、国への要請も行ってまいります。

それでは、本日提案いたしました議案についてご説明いたします。

本定例会に提案いたしました議案は、西之表市公平委員の選任についてなど人事案件2件、西之表市職員の再任用に関する条例の制定など条例議案2件、西之表市汚泥再生処理センター建設工事請負契約についての承認議案1件、平成25年度一般会計補正予算第2号など予算関係議案8件、平成24年度一般会計歳入歳出決算認定など認定議案9件、その他報告案件1件の合計23件であります。

主な議案についてご説明いたします。

議案第71号は、公平委員の選任についてであります。公平委員の和田正子氏が本年9月15日をもって任期満了となるため、その後任に小田れい子を選任しようとするものであります。

議案第72号は、人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めるものであります。人権擁護委員の<sup>のだじょうえい</sup>野田浄映氏が、本年12月31日をもって任期満了となるため、その後任に<sup>ささがわみつや</sup>笹川満矢氏を人権擁護委員候補者として法務大臣に推薦しようとするものであります。

議案第73号は、西之表市職員の再任用に関する条例の制定についてであります。世界的にも例をみない急速な高齢化社会の到来と高年齢者の労働力の活用の必要性が課題となっており、また、民間においても平成16年、改正高年齢者雇用安定法の施行により、65歳までの雇用の確保措置が義務付けられたことを踏まえ、60歳定年制度は維持したままで、職員の雇用を65歳まで継続できるよう条例を制定するものです。既に、県下43市町村中、41市町村で条例制定が終わっており、人事院の意見申し出に基づく国の要請を考慮し、整備を図ろうとするものです。

議案第75号は、県管理の国道58号線の廃道区間を引き継ぐた

め、市道として認定しようとするものであります。

議案第76号は、西之表市汚泥再処理センター（仮称）の建設工事請負契約について、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第2条の規定に基づき提案するものです。

議案第77号から議案第84号は、一般会計及び特別会計等の補正予算であります。

議案第77号は西之表市一般会計補正予算第2号であります。

歳入は、普通地方交付税が確定したことに伴い、2億7千2百95万6千円を追加しております。また、6月議会で補正財源とした財政調整基金の繰戻しを行っております。さらに、平成24年度決算に伴う収支の確定により繰越金に1億8千7百35万5千円を追加しております。

歳出は、財産管理費、積立金に2億7千2百85万1千円を基金積立したほか、光ファイバーの申込者の増加による関係経費として8百15万8千円、りとうちいきふにんちりょうじよせいひなど離島地域不妊治療助成費等、母子衛生費に2百42万2千円、住宅用太陽光発電設備費に1百35万円、かごしま園芸産地整備など農業振興関連経費に3千7百72万2千円、鳥獣被害対策関連経費など林業振興費に9百58万2千円などを計上いた

しております。

なお、本議会中に予算の追加議案1件の上程を予定しておりますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。

次に認定第1号から8号までは、一般会計及び特別会計等の平成24年度歳入歳出決算認定についてであります。

平成24年度一般会計及び特別会計の収支状況は、歳入決算額、1百49億6千48万1千5百87円、歳出決算額、1百47億1千8百20万5千6百84円で、歳入歳出差引額は2億4千2百27万5千9百3円、翌年度へ繰り越すべき財源8千5百27万6千3百45円を控除した実質収支額は1億5千6百99万9千5百58円となりました。

一般会計の収支状況は、歳入決算額、1百億2千8百60万3千4百1円、歳出決算額98億7百5万7千7百26円で歳入歳出差引額は2億2千1百54万5千6百75円となり、翌年度へ繰り越すべき財源8千4百26万1千3百45円を控除した実質収支額は、1億3千7百28万4千3百30円となり、単年度収支及び実質単年度収支ともに黒字であります。前年度の決算額に対しまして、歳入は4.1%、歳出は3.6%それぞれ増となりました。

特別会計では、歳入決算額49億3千1百87万8千1百86円、歳出決算額49億1千1百14万7千9百58円で、歳入歳出差引額は2千73万2百28円となり、翌年度へ繰り越すべき財源1百1万5千円を控除した実質収支額は1千9百71万5千2百28円となりました。前年度の決算額に対しまして、歳入は0.7%、歳出は0.6%それぞれ増となりました。なお普通会計における経常収支比率は94.2で、対前年度比0.5ポイント減少いたしました。健全化指標は、実質赤字比率及び連結実質赤字比率がゼロ、いわゆる黒字であります。実質公債費比率の3か年平均は、12.5で、対前年度比1.9ポイントの低下、将来負担比率は98.0で、対前年度比2.1ポイント低下しました。

財政の健全化は進んでいると考えますが、県内他自治体と比較すると、まだまだ低位にあります。重要政策には積極的な対応を図るものの財政の健全性を損なうことのないよう細心の注意を図ってまいります。

提案いたしました議案につきまして、議員各位のご審議をお願い申し上げます。提案理由の説明といたします。

市民の皆様並びに議員各位には一層のご理解とご支援を賜ります

よう衷心よりお願い申し上げますとともに、重ねて議員各位にご審議をお願い申し上げます、私の市政に対する所信表明及び提案理由の説明といたします。